

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称	令和 8 年度第 1 回ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会会議			
開催日時	令和 8 年 8 月 2 8 日（金） 開会時刻 午後 2 時 0 0 分 閉会時刻 午後 3 時 0 0 分			
開催場所	ふじみ野市役所第 4 庁舎 2 階 D 2 0 1 会議室			
出席した者の 氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	山 崎 博	委員	桑 子 恵 美
	副委員長	永 倉 久 美 代	委員	鈴 木 達 也
	委員	松 本 正 彦	事務局 (課 長)	木 村 裕 之
	委員	田 淵 大 将	事務局 (副 課 長)	松 原 秀 洋
	委員	柳 川 智 哉	事務局 (係 長)	笠 掛 裕 子
	委員	保 坂 幸 恵	事務局 (主 事)	星 野 彩 奈
	委員	原 田 喜 久 男	事務局 (会計年度 任用職員)	宮 内 菊 枝
	委員	堀 内 一 男	統括コーデ ィネーター	伊 藤 照 子
	委員	吉 田 和 実		
会議の議題	議事 1 委員長、副委員長の選出について 2 令和 7 年度放課後子ども教室の活動報告について			

	3 令和8年度放課後子ども教室の活動計画及び実施状況について 4 その他	
会議の公開又は 非公開の別	公開	
会議の非公開の 理由		
傍聴人の数	0 人	
会議の内容	別紙のとおり	
会議資料	別添のとおり	
事務局	教育部社会教育課	
議 事 の 確 定	確定年月日	令和8年9月9日
	記名押印 又は署名	役職名 <div style="text-align: right;">議長 山 崎 博 ㊟</div> ※自署の場合は、押印不要です。

別紙

発言者	発言の要旨
事務局 (木村課長)	開会の報告
山崎教育長	あいさつ
事務局 (木村課長)	会議の成立の報告 委員 11 名全員出席で会議成立と傍聴者 0 名を報告
事務局	事務局紹介 山崎教育長・内田部長公務のため退席
各委員	自己紹介
事務局 (木村課長)	新たな委員による最初の会議のため、委員長が選任されるまでは 木村課長が議長代理。 1 「委員長、副委員長の選出について」 自薦無し。 進行。
鈴木委員	昨年度副委員長の山崎委員を委員長、指導員を務める永倉委員長 を副委員長に推薦
全委員	拍手で承認
事務局 (木村課長)	山崎委員を委員長、永倉委員を副委員長に決定する。 条例により、議事進行を議長に依頼する。
山崎議長	議事進行
事務局 (星野)	配布資料の確認
山崎議長	配布資料不足無しのため、議事進行 2 令和 7 年度放課後子ども教室の活動報告について

事務局 (笠掛係長)	資料1「ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会の概要」に基づき説明
事務局 (星野)	資料2「放課後子ども教室運営報告」 資料3「令和7・8年度登録状況」に基づき説明
山崎議長	質疑応答
堀内委員	資料2について。 「地域住民」という文言が出てくるが、これは児童の保護者等のP T Aを含むという認識で良いのか。
事務局 (笠掛係長)	堀内委員の認識のとおり、地域住民には保護者やP T Aを含む。 現在は現役児童の保護者で指導員をしている方はいないが、関わりたいという方がいれば歓迎する。
桑子委員	資料3について。 入室希望児童が多い場合定員を増員している場合もあるとの説明があったが、東原小学校の定員が減っているのはなぜか。
事務局 (星野)	東原小学校の指導員数が開始当初より減になったため、児童の安全を確保するため、定員を変更した。
桑子委員	表にある「参加可能」の意味と、「不可」と「0」の違いはなにか。
事務局 (星野)	「参加可能」は、定員に余裕があるということ。申込があれば入室可能。 「不可」は定員に達しているため、参加できないということ。 「0」は、参加定員に達しているが、指導員と相談のうえ、安全に運営できる範囲で定員を超えて受け入れる場合がある学校ということ。
吉田委員	文京学院大学との連携事業で学生が参加しているが、これの反響はどうか。
事務局 (星野)	先日の指導員代表者会議でも、学生の存在は非常にありがたいという報告があった。指導員にとっては児童を客観視することができ

永倉副議長	<p>る機会になり、走ったりするなどの体力を使う事業を楽しむため、児童も非常に喜んでいる。指導員からも児童からも良い反響があり、大変ありがたい。</p> <p>現場の指導員として回答する。</p> <p>文京学院大学の学生との交流は、学生は授業で参加しているため、全ての活動日に参加できるわけではない。許可を取った学生が、参加可能な曜日によって振り分けられる。</p> <p>さぎの森小学校は大学からも駅から距離が遠いため、去年まではなかなか学生が来られなかったが、今年ようやく学生が全校に配置された。学生にさぎの森小学校までに交通手段を聞いたら、歩いて来た学生と、ダイチャリ（シェアサイクルサービス）を利用して来た学生がいた。さぎの森小の近くにはダイチャリのステーションがないので、不便をかけたと思う。</p> <p>学生の活動日に東武東上線が人身事故で遅れてしまった日もあったが、諦めずに来てくれた。</p> <p>学生が来ると児童が学生と遊んでくれるので、指導員の手が空く。手が空くと、大人と話している子どもの様子を客観的に見ることができ、指導員にとっても学びの場になっている。</p> <p>参加している学生は、教員や幼稚園の先生、児童相談所の職員を目指す人が多い。それぞれ将来は違うと思うが、実際に児童と関わることで、児童の扱い方を学んだり、子どもと接する上で自分が得意とすることを見つけたりすることができている。</p> <p>児童も校庭を学生と思いつき遊びまわることができる。指導員だけではそれができないので、文京学院大学との連携は来年度以降も長く続けていきたい。</p>
山崎議長	<p>議事進行</p> <p>3 令和8年度放課後子ども教室の活動計画及び実施状況について</p>
事務局 (星野)	<p>資料2「放課後子ども教室運営報告」</p> <p>資料3「令和7・8年度登録状況」</p> <p>資料4「R8放課後子ども教室リーフレット」</p> <p>資料5「R8活動予定表」</p> <p>資料6「おたより（上野台小学校）」</p> <p>資料7「活動報告まとめ（R8年度1学期）」</p> <p>に基づき説明。</p>

山崎議長	質疑応答。
田淵委員	指導員のみなさまにはいつも楽しい企画を準備してもらい、大変感謝している。このような企画準備には非常に時間がかかるのではないか。
永倉副議長	<p>現場のコーディネーターとして回答する。</p> <p>各学校のコーディネーターによって視点は異なるが、たいてい七夕やハロウィン、クリスマスや節分など季節の行事に合わせた工作を準備する。</p> <p>作り方に関してはネットで検索するものもあれば、工作用の本を使う場合もある。そのなかで、子どもの作業工程が少なく、限られた時間で完成するものを選ぶ。宿題をやって、工作を30分ほどして残りの時間は自由時間というのがベストな時間である。糊やはさみを使うと、1・2年生では30分で完成しないことがほとんどなので、なるべく完結するように、どこまで指導員が準備するべきか考えている。</p> <p>工作の材料は家にあるものが使えれば使うが、なければ事務局に準備してもらう。</p> <p>全て大人がやると子どもが自分で作った作品ではなくなってしまうので、指導員は下準備をするが、なるべく子どもが自分でできるように気を付けている。また、完成品が全く同じになるのではなく、子どもが自分の好みや個性を作品に反映させられるように努め、指導員同士で情報交換も行っている。</p> <p>教育現場にいらっしゃる委員はご存知と思うが、最近のはさみを使えない児童が多い。セロハンテープを切ったり、手動の鉛筆削りを使って鉛筆を削ったりしたことが無い児童もいるので、工作をするときはそういったことから児童に伝えられるように知恵を絞っている。</p> <p>天候や活動日によっては計画していた外遊びなどができなくなることもある。子ども達が飽きないように、その場にあるもので作れる工作をストックもしている。</p>
田淵委員	子どもが作ってきたものをよく見せてくれる。費用も限られている中で、工夫してやってくださっているのが良く分かった。これからも引き続きよろしくお願いします。

山崎議長	議事進行。 4 その他
事務局 (笠掛)	事務連絡。次回会議の日程調整の連絡。
永倉副議長	閉会の挨拶。